

科目名	担当者名	配当	期	単位
経済法演習	若林 亜理砂	3選	後期	2

■講義内容■

経済法Ⅰ・経済法Ⅱにおける学修内容を前提として、そこで得た知識をさらに深めることを目標として講義を行う。

毎回、実際の判例・審決を題材とした事例問題を出題し、それについて双方向・多方向の演習を行っていく。学生には、毎回、事例問題について事前に自ら考え、まとめてくることが求められる。また、経済法の新たな判例・審決についてもなるべく取り上げて議論したいと考えている。

■シラバス■

<科目のねらい>

本講義は、経済法Ⅰ・Ⅱをすでに履修した3年次の学生を対象として、経済法の基礎的な知識を前提として、より高度な問題に関してもその理解をさらに深めることを目標とする。日々動いている経済活動を対象とした科目であり、新たな論点・問題も出てきているが、これらについても議論を行い自ら考え判断できるようにすることも1つの目標としたい。

具体的には以下のテーマに基づき講義を進める。

<科目の内容>

- 第1回 不当な取引制限（Ⅰ）カルテルの立証
- 第2回 不当な取引制限（Ⅱ）入札談合
- 第3回 不当な取引制限（Ⅱ）非ハードコアカルテル
- 第4回 私的独占
- 第5回 企業集中
- 第6回 不公正な取引方法（Ⅰ）取引拒絶
- 第7回 不公正な取引方法（Ⅱ）差別対価・取引条件等の差別的取扱
- 第8回 不公正な取引方法（Ⅲ）不当廉売
- 第9回 不公正な取引方法（Ⅳ）抱き合わせ販売
- 第10回 不公正な取引方法（Ⅴ）排他条件付取引、再販売価格の拘束
- 第11回 不公正な取引方法（Ⅵ）拘束条件付き取引
- 第12回 不公正な取引方法（Ⅶ）優越的地位の濫用
- 第13回 知的財産権との関係、国際取引との関係
- 第14回 エンフォースメント
- 第15回 定期試験

<参考書>

- 金井・川濱・泉水『ケースブック独占禁止法 [第2版]』弘文堂（2010年）
- 『経済法判例・審決百選』別冊ジュリスト No.199（2010年）
- 金井・川濱・泉水『独占禁止法 [第3版]』弘文堂（2010年）
- 根岸哲・舟田正之『独占禁止法概説 [第4版]』有斐閣（2010年）